

私が変わる世界が変わる「吉高エシカルプロジェクト」

学校教育における普及・啓発

有機栽培

地産地消

食品ロス削減

徳島県立吉野川高等学校

所在地：徳島県吉野川市鴨島町喜来681-9
沿革：旧徳島県立鴨島商業高等学校と、旧徳島県立阿波農業高等学校を再編統合し、平成24年4月1日に開校
学科：農業科学、生物活用、情報ビジネス、食ビジネス、会計ビジネス
生徒数：1年 132名/2年 113名/3年 132名
合計 377名(平成29年4月1日現在)

平成29年度「Go!Go!エシカル」わくわく徳島プロジェクト「エシカル消費」リーディングスクール事業のリーディングスクール2校のうちの1校

○事業・活動の概要

徳島県立吉野川高校では、有機農法による「すだち」などの栽培に積極的に取り組んでおり、定期的に開催している校内産直市「アグリ吉野川」では、同校で生産収穫した農作物などを生徒たちが販売している。また、校内の食品製造実習室に併設された校内カフェ施設では、それらの農作物を用いて、定期的に食ビジネス科の生徒たちがカフェ実習「スクールカフェ」を行い、スイーツやカレーなどを提供・販売している。平成29年度に実施した「スクールカフェ」のうち、数回は「エシカルカフェ」としてエシカル消費に関連付けたテーマで実施しており、生徒や訪れた地域の人々が、日頃の消費生活を見直すきっかけとなっている。



○エシカルカフェでの取組

「エシカルカフェ」では、フェアトレードコーヒーやオーガニック紅茶を販売しているほか、地産地消として徳島県上勝町産の「阿波晩茶」などを用意した回もあった。

平成29年10月19日実施時には、オーガニックバナナとフェアトレードチョコレートを使ったパウンドケーキを作って販売した。フェアトレードコーヒーやオーガニック紅茶は、一般的な商品よりも価格が高くなるため、生徒自身が来

店者に対してエシカル消費の考え方を踏まえて、割高になる理由などについての説明を行った。また、食事中に見てもらえるように、エシカル消費に関する説明が書かれたトレーマットを作成し、普及・啓発活動に取り組んでいる。



また、同年11月16日には、徳島文理大学短期大学部と連携し協働で調理を実施した。この日は食品ロスの削減を意識し、通常食用とされないブロッコリーの葉の部分の部分を麺に練り込む料理をメニューの一つにした。これは、今後、非常食としても保存ができるよう改良予定で、廃棄される部位を単に食材として活用するだけでなく、災害時の非常食として応用することが期待されている。

○エシカル消費について学ぶ

エシカル消費について学校内での普及のため、平成29年8月と10月に徳島県庁のエシカル消費推進担当部署の職員を招いて全校生徒を対象に講演会を実施した。また、毎週金曜日を「エシカルフライデー」とし、朝礼などで週ごとに職員同士が交代で「フードロス」や「オーガニックコットン」などエシカル消費に関連するテーマについて発表し合う機会を設けている。

文化祭では、校内5箇所のチェックポイントを回りながら問題に答える「エシカルクイズ」を行った。「原料や商品を労働に見合う価格で取引することを何というか」など、エシカル消費に関連する知識を学べる内容が出題された。全問正解者には抽選でフェアトレードチョコレートを賞品として渡した。また、生徒がそれぞれでテーマを設定し、エシカル消費に関して調べた内容を展示した。食品ロスの削減をテーマにしたものは、果物や野菜の皮の活用方法など、エシカル消費につながる具体的な行動の例を紹介した。



○校外での普及・啓発活動

平成29年11月23日には、専門学科の生徒が日頃の活動成果を発表する「徳島県高校生産業教育展」において、有機農法で栽培したレモンを使ったスイーツを販売した。また、文化祭で披露したエシカルクイズを教育展でも実施した。エシカル消費について分かりやすくイラスト付きで説明したクリアファイルを作成し、クイズの回答者に配付した。

○エシカル消費に関する教員の声

同校の教員に、エシカル消費について伺った。

「エシカル消費は、各自の消費行動が世界や未来を変え得るものだと捉えているが、その実感を生徒にどのように持たせるかが難しい。自分の行動が人や環境、社会にどのような影響を与えるのか、もっと可視化が図れると良いのではないかと考えている。」

「エシカル消費について手軽に得られる情報が少ないと感じている。今後も校内での講演会を行いたい、講師の人選などが悩みどころである。行政には、エシカル消費に興味を持った人が、学びたい、行動したいと思ったときに参考にできるような情報の提供を望んでいる。」

「エシカル消費を行動につなげるため、フェアトレードマーク等の認証マークの付いた商品がもっと身の回りで増えると良いと思う。」

○課題と今後の目標

同校では、今後も「エシカルカフェ」を通じた取組を発信するとともに、生徒がエシカル消費とはどういうものか、実感できる場を提供していくこととしている。

また、現在は食ビジネス科の生徒を中心に活動しているが、校内で推進チームを立ち上げ、生徒から生徒へと横のつながりでエシカル消費を普及できるような取組を行う予定である。対外的にも、フェイスブックなどSNSを利用した情報発信を積極的に行う予定である。

エシカル消費以外にも学校全体で取り組むべき事項が数多くある中で、エシカル消費に関連した活動の時間を確保することは簡単ではないが、どのようなことをすれば効果的に生徒に普及していくことができるのかを考えながら、取組の幅を広げられるよう努めている。

公表日：平成30年7月12日 取材：平成30年1月

外部リンク：<http://yoshinogawa-hs.tokushima-ec.ed.jp/>

